

本市の新教育委員会制度について

河野 哲雄 議員

質問 新教育委員会制度では、いじめなどの問題に対応してどのように対応されるのか、お聞きします。

答 いじめ問題などの重大案件が生じた場合には、まず、教育長が第一義的な責任者として迅速に対応することになります。また、教育長の判断により、教育

委員への迅速な情報提供や教育委員会の招集が可能となります。さらに、首長の判断により、緊急に総合教育会議を開いて、講ずべき措置について教育委員会と協議・調整を行うことも可能になりました。これらの点がいじめ問題への対応として、新制度の導入に伴う

変更点であると言えます。

質問 新制度では、首長と教育委員会が協議を行う場として、全ての自治体に総合教育会議を設けることとしております。本市ではどのような内容で開催されているのか、お聞きします。

答 本市の総合教育会議においては、平成27年度に総合教育会議の運営に関して必要となる事項を定めるため、館林市総合教育会議運営要綱の策定についてや、館林市教育大綱の策定につ

いての検討・協議を行いました。平成28年度には、さまざまな教育行政上の課題から、子どもの貧困対策、幼児教育の充実、茂林寺沼湿原の保護・保全の三つのテーマを取り上げ、意見交換を行いました。

質問 総合教育会議の仕組みを活用して、地域の声を反映するような拡大版総合教育会議開催の考えについてお聞きします。

答 拡大版総合教育会議の開催につきましては、先

進事例を参考として、今後、研究してまいりたいと考えております。

質問 教育行政の政治的中立性の確保に対して、市長の見解をお聞きします。

答 教育委員会は従前どおり委員の合議制による執行機関であること、総合教育会議の中でも、最終的な執行の権限は教育委員会に担保されていること、以上の点を踏まえますと、政治的中立性は十分確保できるものと認識しております。

自然・歴史・文化などの観光資源を生かしたまちづくりについて

小林 信 議員

イベントの際に物産販売を

質問 たてばやし市民計画に、「観光振興はさまざまに波及効果が期待できる」、「豊かな自然、歴史、文化などの地域資源を活用し、観光客が四季を通して訪れるような…」とありますが、地域資源を生かし、回遊性を持たせるために、観光タ

クシーの運行を要望します。

また、市外からもたくさんの方が訪れるスポーツイベントの際に、経済効果のある土産品販売を検討する考えについてお尋ねします。

答 観光宣伝を行っておりますが、観光客の回遊性に結び付けていくことがで

きておりません。駅伝大会やスポーツ少年団の大会などには、市外から多くの参加者がありますので、邑楽館林物産振興会の協力を得ながら物産などを販売できる機会であると思います。

市内唯一の公共の宿

質問 つつじが岡パークインは、市内唯一の公共の宿です。先日もスポーツ交流都市の上市市から少年スポーツの子どもたちが宿泊しています。ここが無くなったら子どもたちには余りに

も悲しいことです。パークインの継続をどのように考えているのかお尋ねします。

れたくなるような公園施設の整備や園内にバーベキュー広場を設ければ経済効果も発揮できるはずですが、その考えを伺います。

答 今後の経営方針を明確にするよう、中小企業診断士からアドバイスを受けており、それらを十分検討してまいりたいと思います。

協力体制の強化を

質問 つつじが岡公園の木については、関係者がカ

ルテをつくり、大切に保護してきた館林の宝であります。四季を通じて家族で訪

ンウイークにはお客様に残念な思いをさせたのではないかと感じておりますので、

同時期に開催しています花と緑のフェスティバルとの協力体制を強化していきたくないと考えております。